



市民の声を生かし、情報を共有する 市役所のおでかけトーク

「おでかけトーク」はことしで5回目です。市長をはじめとする市職員が、市の財政状況や本年度の主な取り組み、地区の希望した市政内容などについて説明し、市民からの質問や意見に答えました。主な内容をお知らせします。

問い合わせ 秘書広報室 西川 ☎0052

消防救急業務の広域化

消防救急業務の広域化について、現状と今後の方針を教えてください。

静岡県では平成20年度、行財政運営の効率化と消防体制の基盤強化を図り、大規模災害への対応能力や住民サービスの向上を目的として、県内を3つの消防本部体制とする

子どもの医療費助成制度

子どもの医療費助成制度を改善してください。

坂部保育園の建て替え、地頭方保育園の耐震補強には、借金が多いことなどの理由で、本年度の当初予算で取り組むことができませんでした。現在、補正予算で実現できるように調整を進めています。これにより、市内のすべての保育園は、地震に強い保育園になります。県の子どもに対する医療費助成制度が10月から変わり、乳幼児に加え、小学生と中学生も入院した場合の利用者負担額は、1日500円になります。医療費の差額は、県が3分の1、市が3分の2を負担します。通院についても対象としたのですが、財政が厳しい状況です。引き続き、検討をしていく必要があります。

魅力あるまちづくり

もっと魅力あるまちをつくる必要はないでしょうか。

富士山静岡空港ができたことから、観光産業の振興や交

お茶の凍霜害

静岡県の凍霜害について、被害状況を聞かせてください。

静岡県全体の凍霜害は、約44億円と報道されました。牧之原市は、県内市町の中で最も被害額が多く、約11億円(推定)の被害でした。心配された生産量は、前年の50パーセントから60パーセントと推定されていましたが、天候が比較的順調に回復し、

庁舎の統廃合

市役所庁舎の統廃合を推進してほしい。

雨も適度に降ったことから、結果としては、前年の70パーセントから85パーセントとなりました。市では、お茶生産者に対する凍霜害対策資金融資の利子補給を実施します。このほか、茶園基盤整備などの生産性向上に向けた支援、お茶の消費拡大を図る事業などにも、より一層、取り組んでいきます。

市役所庁舎の統廃合

市役所庁舎の統廃合を推進してほしい。

雨も適度に降ったことから、結果としては、前年の70パーセントから85パーセントとなりました。市では、お茶生産者に対する凍霜害対策資金融資の利子補給を実施します。このほか、茶園基盤整備などの生産性向上に向けた支援、お茶の消費拡大を図る事業などにも、より一層、取り組んでいきます。

◆各会場データ (地区の希望による説明内容や参加人数など)

地区の希望による説明内容……担当部長が各地区の希望した市政内容を説明しました。榎原総合病院の現状……知念事務長がすべての地区で診療体制や運営状況を報告しました。

対象地区	実施日	会場	地区の希望による説明内容	参加人数
相良・福岡	5月25日(日)	相良史料館	▶旧町間の一体感醸成▶財政状況、中長期の財政計画など	42人
細江	28日(金)	細江コミュニティセンター	▶榎原総合病院と行政とのかかわり▶市財政収支計画(中長期)	100人
大沢・菅山	6月22日(日)	相良史料館	▶財政について▶市の将来ビジョン	88人
坂部	25日(金)	坂部区民センター	▶空港隣接整備事業▶地場産業振興(特に茶業)	50人
地頭方	29日(日)	トーク地頭方	▶消防の広域化▶東名インターチェンジへのバイパス開通日	102人
静波	7月2日(金)	静波コミュニティ防災センター	▶静波西保育園の跡地利用▶中条川水門へのポンプ設置	110人
大江・片浜	7日(日)	片浜コミュニティ防災センター	▶萩間川への架橋計画▶消防救急業務の広域化	50人
川崎	9日(金)	川崎コミュニティ防災センター	▶補助金・助成金▶おでかけトーク	54人
勝間田	13日(日)	勝間田会館	▶「県道榎原谷線」勝間上地域の歩道未設置区間の整備計画	71人
波津・須々木	15日(日)	い〜ら	▶市営住宅の現状と改善対策▶消防救急業務の広域化	78人
萩間	20日(日)	萩間公民館	▶広域・幹線道路などの整備計画	53人
牧之原(榎原地域)	23日(金)	牧之原コミュニティセンター	▶市総合庁舎新設▶市図書館新設	42人
計				840人

各会場の会議録は、ホームページや両庁舎の情報公開コーナーで閲覧できます。HP <http://www.city.makinohara.shizuoka.jp>

◆おでかけトーク アンケート結果

今後の取り組みに活用するため、会場でアンケート調査を実施しました。

